



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月13日

上場会社名 ドリームベッド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7791 URL <https://www.dreambed.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 克己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 峰岡 道男 TEL 082 (271) 4201  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,193	3.3	250	△40.4	287	△35.9	180	△34.3
2022年3月期第3四半期	6,966	—	420	—	449	—	275	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	44.02	—
2022年3月期第3四半期	70.72	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。これにより、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年3月期第3四半期	9,797		3,787		38.7
2022年3月期	8,260		3,802		46.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,787百万円 2022年3月期 3,802百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	2.1	325	△49.9	360	△46.7	330	△26.0	80.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,152,820株	2022年3月期	4,152,820株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	51,500株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	4,110,885株	2022年3月期3Q	3,896,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会開催及び決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載いたします。( <https://ir.dreambed.co.jp/ja/ir.html> )

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大はあるものの、経済活動の制限が緩和され景気持ち直しの兆しが見られた一方で、世界的な金融引き締めによる急激な為替相場の変動、並びにロシアによるウクライナへの侵攻が原材料価格の高騰を招く等個人消費の動向にも影響をおよぼしており、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下において、当社の各販売経路別の売上高の状況は以下のとおりです。

「家具販売店向け」は、ligne roset（リーン・ロゼ）商品やサータトラディション等の高価格帯マットレスの販売が好調に推移する一方で、新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大の影響もあり、家具販売店での集客は第2四半期から伸び悩みが続き、「家具販売店向け」については前年同四半期累計期間と比して90,108千円減少しております。

「商業施設向け」は、第2四半期まで前年同四半期累計期間と比して減少が続いておりましたが、政府の財政支援を受けた全国旅行支援が2022年10月から開始され、ホテル業界の宿泊稼働率が対前年比で向上しております。その結果、ホテル業界におけるマットレスに対するリニューアルや新規投資の本格的な回復はまだ見通せないものの、減少から一転して前年同四半期累計期間と比して69,976千円増加しております。

「ショップ/ショールーム」向けは、引き続き来店客数及び高価格帯商品の販売が増加しているのに加え、2022年8月にグランドオープンした名古屋ショールームも売上増加に寄与しており、前年同四半期累計期間と比して193,851千円増加しております。

「ハウスメーカー向け」は、コロナ禍でのハウスメーカーによる催事は中止や延期が相次いでおりましたが、各ハウスメーカーにて少しずつ回復の兆しが出てきており、ショールームと連携しての来客誘致もあり、前年同四半期累計期間と比して9,339千円増加しております。

このような状況の中、2022年11月に本社併設の広島ショールームにて家具販売店向け新作展示会を開催し、サータトラディション等のマットレス4種類、フレーム新商品6種類を新たに投入いたしました結果、同年5月開催時に比して受注が増加しております。また、同年12月には新工場建設における次期工事として縫製完成棟の工事に着手し、回復の兆しが見え始めているホテル業界向け需要に対する生産増加に備えております。その他市場価格を考慮した上での売値上げを実施してまいりましたが、原材料の高騰やコスト増により売上原価増加となり、売上総利益に影響しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高7,193,699千円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益250,333千円（同40.4%減）、経常利益287,894千円（同35.9%減）、四半期純利益180,944千円（同34.3%減）となりました。

また、当社はホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,155,826千円となり、前事業年度末に比べ188,246千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少566,708千円及び売掛金の減少100,143千円等によるものであります。現金及び預金の減少の主な要因は八千代第一工場の新設及び増改築に1,681,016千円を充当したことであり、一方で、商品及び製品の増加142,459千円がありました。また、固定資産は5,642,021千円となり、前事業年度末に比べ1,725,733千円増加いたしました。これは主に建物（純額）の増加1,383,551千円及び構築物（純額）の増加117,029千円等によるものであります。なお、建物は1,392,521千円、構築物は123,927千円が八千代第一工場の新設及び増改築に係る増加であります。一方で、ソフトウェアの減少12,920千円がありました。ソフトウェアの減少は減価償却によるものであります。

この結果、総資産は9,797,847千円となり、前事業年度末に比べ1,537,486千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,472,162千円となり、前事業年度末に比べ753,001千円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加630,000千円、未払金の増加201,250千円及び前受金の増加49,581千円等によるものであります。一方で、未払法人税等の減少104,227千円及び賞与引当金の減少89,619千円がありました。また、固定負債は1,537,944千円となり、前事業年度末に比べ799,318千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加830,000千円等によるものであります。長期借入金の増加は八千代第一工場の新設及び増改築に係る資金調達として1,000,000千円のシンジケートローンによる借入を実行したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,010,106千円となり、前事業年度末に比べ1,552,319千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,787,741千円となり、前事業年度末に比べ14,832千円減少いたしました。これは主に四半期純利益180,944千円を計上したものの、期末配当金及び中間配当金の支払い165,340千

円、自己株式の取得37,133千円により減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.7%（前事業年度末は46.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年5月12日「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（2023年2月13日）公表の「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,099,040	532,332
受取手形	931,586	950,295
売掛金	1,343,306	1,243,162
商品及び製品	611,254	753,713
仕掛品	15,530	14,880
原材料及び貯蔵品	253,657	338,104
前渡金	38,296	50,024
前払費用	66,604	141,884
その他	2,897	148,828
貸倒引当金	△18,100	△17,400
流動資産合計	4,344,072	4,155,826
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	509,649	1,893,200
構築物(純額)	14,405	131,434
機械及び装置(純額)	370,908	471,042
車両運搬具(純額)	2,241	2,722
工具、器具及び備品(純額)	51,384	76,822
土地	2,109,116	2,112,168
リース資産(純額)	7,462	4,713
建設仮勘定	520,284	581,987
有形固定資産合計	3,585,452	5,274,091
無形固定資産		
ソフトウェア	48,242	35,322
その他	237	237
無形固定資産合計	48,479	35,559
投資その他の資産		
投資有価証券	75,821	86,352
出資金	1,200	1,200
前払年金費用	33,344	48,823
その他	171,990	195,995
投資その他の資産合計	282,356	332,370
固定資産合計	3,916,287	5,642,021
資産合計	8,260,360	9,797,847

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	762,219	808,364
買掛金	330,687	292,073
短期借入金	1,295,000	1,925,000
1年内返済予定の長期借入金	340,000	340,000
未払金	444,723	645,974
未払費用	54,690	97,839
未払法人税等	116,130	11,903
前受金	105,097	154,678
預り金	29,240	74,875
賞与引当金	173,852	84,232
製品保証引当金	28,300	19,300
リース債務	3,664	3,010
その他	35,554	14,909
流動負債合計	3,719,160	4,472,162
固定負債		
長期借入金	340,000	1,170,000
リース債務	3,797	1,702
繰延税金負債	297,522	300,455
その他	97,306	65,786
固定負債合計	738,625	1,537,944
負債合計	4,457,786	6,010,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,715	785,715
資本剰余金	715,725	715,725
利益剰余金	2,312,574	2,328,179
自己株式	—	△37,133
株主資本合計	3,814,014	3,792,485
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,440	△4,744
評価・換算差額等合計	△11,440	△4,744
純資産合計	3,802,574	3,787,741
負債純資産合計	8,260,360	9,797,847

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,966,612	7,193,699
売上原価	3,349,853	3,565,756
売上総利益	3,616,759	3,627,942
販売費及び一般管理費	3,196,604	3,377,609
営業利益	420,154	250,333
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	2,254	2,473
為替差益	-	296
保険解約返戻金	63,640	64,550
その他	5,082	2,770
営業外収益合計	70,981	70,092
営業外費用		
支払利息	11,186	10,866
支払手数料	-	21,400
為替差損	133	-
株式公開費用	28,605	-
その他	1,990	265
営業外費用合計	41,916	32,531
経常利益	449,219	287,894
特別損失		
固定資産除却損	43,028	7,457
投資有価証券評価損	1,787	-
その他	152	-
特別損失合計	44,967	7,457
税引前四半期純利益	404,251	280,436
法人税等	128,710	99,492
四半期純利益	275,541	180,944



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式51,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が37,133千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が37,133千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大については、現時点では当社の会計上の見積りには重要な影響がないと判断しており、前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済及び企業活動への影響によっては、見積りと異なる場合があります。財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。